



Q休みの課題についての解説

1週間のQ休みの過ごし方や家庭学習についてお知らせいたします。

基本的にQ休みは、普段の学校生活ではできないような豊かな体験をして興味や関心を広げること、自分の好きなことや得意なことに浸ることが大切だと思います。

ただ、学習習慣を低学年のうちから身に付けることも、とても大切です。小学校の望ましい家庭学習の時間は、学年×10分（2年生なら20分）と言われているので、その時間内で無理のない程度に学習にお取り組みください。

【2Q休みのお知らせ】こちらにQ休みの課題が載せてあります

https://drive.google.com/drive/folders/1hSy_RR2dmIXt1rnHQNPq23BgK4FQsXjS

注意！以下文字が大量ですので休み休みお読みいただければ幸いです！

漢字について

ユニット6～10のプリントを1枚（練習が必要な場合はさらに何枚か）配付してあります。徹底反復による完全定着を図るため、休み明けに再度テストをします。

休みの前半よりは、後半に取り組むとよいです。

参考：通信「漢字学習の重要性はどれほどか」<https://blog.seto-solan.ed.jp/?p=9496>

九九について

- ・4分以内で全問正解している場合

⇒十分に習得できています。更なるスピードアップを目指すより、キュービナで単元学習をすすめるほうがよいです。

- ・10分以内でほぼ正解している場合

⇒一番九九が楽しく成長を感じられる時期です。何度も取り組んでタイムアップを目指しましょう。今後の算数学習の要となる力がつきます。

- ・10分以内でいくつか間違いがある場合

⇒なかなか難しい時期です。経験上短期間で一気に覚えてしまう方が効果的です。1日で3枚も4枚もやってしまう日があると、ここを乗り切りやすいです。

- ・10分以上かかる場合、まだ覚えられていないものが多い場合

⇒根気よく取り組みましょう。何日もやらない日が続くと、忘れてしまってモチベーションを保つのが難しくなります。やはり、月に何度か練習する良い、一気に集中して練習した方がよいです。車での移動やお風呂の時間などを利用し、書くだけでなく、聞く＆言うも並行して取り組むと効率的に学べます。

参考：通信「九九の覚え方」<https://blog.seto-solan.ed.jp/?p=8938>

引き算について

練習が必要な場合は、個別に練習プリントを配付しています。実は引き算はとても難しいですが、「はやく」「かんたんに」「せいかくに」できるように練習しましょう。

筆算について

練習が必要な場合は、個別に練習プリントを配付しています。+や-の計算間違えが多い場合は、足し算と引き算の練習が必要です。

手順が正しく身に付けられていない場合は、一の位（右から）計算することをしっかり身に付けましょう。特に、繰り上がりと繰り下がりの処理をしっかりとできないと、3年生のかけ算の筆算、4年生の割り算の筆算で大きなたまらずきにつながります。

キュビナの「8.足し算と引き算の筆算（2）」に取り組んでおくと予習が利き、3Qの学習に有効に作用します。

Kids A-Zについて

毎日1冊以上取り組むと、読む力、話す力、聞く力、語彙力が伸びます。とても多くの本を、絵や写真付きで読むことができとてもおすすめです。

毎日取り組むとすごいスピードでレベルアップしますが、レベルGを超えた辺りから低学年の発達段階以上の語彙や概念が登場するので、自力で読めない・解けない事態が発生しやすいです。その場合は、B~Fのその子に合ったレベルをたくさん読んだ方が学習効果が高いです。

日本語もそうですが、文章に登場する言葉の8~9割を理解できている時、新しい言葉の意味を予想することができ、語彙が増します。意味の予想ができない言葉だらけになった場合は、少し前のレベルに戻るとよいです。

Qubinaについて

予習にとっても向いており、「7.かさ」「8.足し算と引き算の筆算（2）」をやっておくととてもよいです。文章を読んで解くことに慣れていないと、一人で解くことは難しいかもしれないので、慣れるまで一緒に取り組んだ方がよいかもしれません。

参考：通信「キュビナについて」<https://blog.seto-solan.ed.jp/?p=9194>

日記について

学級懇談会でもお伝えしましたが、日記は子どもたちの文章表現力を育てるともよい学習方法です。2年生は特に文章力がよく伸びる時期なので、表現の工夫や新しい言葉などをぜひ試してもらいたいです。

懇談会後の1週間でも、多くの子が日記でオノマトペや会話文を使ったり、ウソ日記にチャレンジしたり、紹介文を書いたりしていて、とても感心しました。継続すると、4Qの終わりにはびっくりするほどの表現力を身に付けていることでしょう。

参考：通信「書くスキルと日記で文章力アップ」<https://blog.seto-solan.ed.jp/?p=9143>

探究について

探究フィールドワークに行くような場所に行くと、情報収集もできるし、次の探究の種も育ちます。探究のために行くというより、行った場所で探究につながるような何かを見つけるイメージでよいと思います。新しいテーマに変わった子もたくさんいるので、これからどんなことをしたいか対話するのもいいですね。

参考：通信「探究的な休日の過ごし方のすすめ」<https://blog.seto-solan.ed.jp/?p=8957>

読書について

図書時間に、絵本よりも文の多い本に挑戦しています。第3Qはビブリオバトルもあるので、いろいろと本を読んで紹介したい本を見つけておくとよいです。

本屋さんと一緒に本を選んだり、インターネットでおすすめの本を一緒に探したりすると、子どもの「読んでみたい」という気持ちを高めやすいです。

また、昨年度の優勝者の動画のリンクを以下に載せますので、それを見れば今年紹介する本を選ぶために本を読もうという気持ちも高まるかもしれません。

参考：昨年度ビブリオバトル優勝者の発表

<https://www.youtube.com/watch?v=zHLvOalvLN0>

ソーラン節練習について

スポーツフェスティバルの練習が始まります。結構な運動量なので、毎日取り組めば運動不足の心配はありません。

毎年、「動画を見ながらお父さんとかお母さんと一緒に踊ってる！」という子どもがたくさんいるので、ぜひ一緒に練習してみてください。下の動画は2年前に撮影したもので、私もこのときの動きを取り戻せるようにがんばります。

参考：ソーラン節動画

https://drive.google.com/drive/folders/1hSy_RR2dmlXt1rnHQNPq23BgK4FQsXjS